

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関  
国際事務局

(43) 国際公開日  
2013年8月1日(01.08.2013)

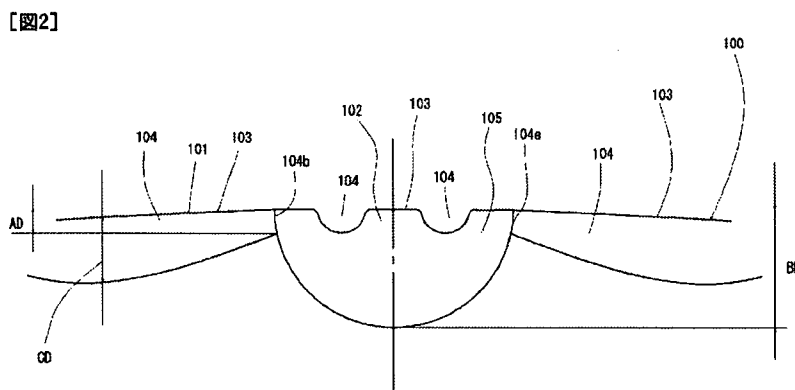


(10) 国際公開番号  
WO 2013/111263 A1

- (51) 国際特許分類:  
A63B 37/00 (2006.01)
  - (21) 国際出願番号: PCT/JP2012/051341
  - (22) 国際出願日: 2012年1月23日(23.01.2012)
  - (25) 国際出願の言語: 日本語
  - (26) 国際公開の言語: 日本語
  - (72) 発明者; および
  - (71) 出願人: 岸下 佳弘 (KISHISHITA, Yoshihiro)  
[JP/JP]; 〒6570036 兵庫県神戸市灘区桜口町2丁目1番16号 Hyogo (JP).
  - (74) 代理人: 宮崎 伊章 (MIYAZAKI, Tadaaki); 〒5640063 大阪府吹田市江坂町1丁目2番43号 ファサード江坂ビル9階 ブナ国際特許事務所 Osaka (JP).
  - (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
  - (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーロピア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).
- 添付公開書類:  
— 国際調査報告 (条約第21条(3))

(54) Title: GOLF BALL

(54) 発明の名称: ゴルフボール



(57) Abstract: [Problem] To provide a golf ball, the aerodynamic characteristics of which have been improved and flight distance increased by means of a dimple design. [Solution] A golf ball (100) in which the sphere surface (101) is configured from dimples (102) and lands (103), which exclude the dimples (102), and in which elliptical dimples (104) together with round dimples (105) are formed in the dimples (102). Each of the two ends (104a, 104b) in the longitudinal direction of a single elliptical dimple (104) overlaps a round dimple (105), and the round dimples (105) and the elliptical dimples (104) communicate with each other. A single land (103) is formed between three elliptical dimples (104, 104, 104).

(57) 要約: 【課題】 ディンプルを工夫することにより空力特性を改善して飛距離を向上させたゴルフボールを提供する。【解決手段】 球体表面101はディンプル102とディンプル102を除いたランド103で構成され、前記ディンプル102は楕円形ディンプル104と共に円形ディンプル105が形成されたゴルフボール100であって、前記1つの楕円形ディンプル104がその長軸方向両端部104a、104bにおいてそれぞれ前記円形ディンプル105と重合し、前記円形ディンプル105と前記楕円形ディンプル104とが相互に連通しており、前記1つのランド103は前記3つの楕円形ディンプル104、104、104の間に形成されている。



WO 2013/111263 A1

## 明 細 書

**発明の名称：** ゴルフボール

### 技術分野

[0001] 本発明は、ゴルフボールにおいて、特に球体表面におけるディンプルとランドの配列構成の改良に関する。

### 背景技術

[0002] 従来、ゴルフボールは、抗力を小さく揚力を大きくして、空力特性（揚力/抗力）を高めるために、ゴルフボールの表面に複数のディンプルを配置している。例えば、ディンプルの表面形状を楕円形等の非円形にしたり（特許文献1、4）、ディンプル内に凸部や凹部を設けて二重ディンプルとしたり（特許文献2）、ディンプル間を溝でつなぐ構成など（特許文献3、5）が提案されている。

[0003] 特許文献1：特開平8-191905号公報  
特許文献2：特開平8-238336号公報  
特許文献3：特開平8-276035号公報  
特許文献4：実用新案登録3157248号公報  
特許文献5：国際公開WO2010-143655  
特許文献6：特開2000-317014号公報

### 発明の開示

#### 発明が解決しようとする課題

[0004] 本発明の課題は、ディンプルを工夫することにより空力特性を改善して飛距離を向上させたゴルフボールを提供することにある。

#### 課題を解決するための手段

[0005] 前記課題を解決するために、本発明は、球体表面はディンプルとディンプルを除いたランドで構成され、前記ディンプルは楕円形ディンプルと共に円形ディンプルが形成されたゴルフボールであって、

前記1つの楕円形ディンプルがその長軸方向両端部においてそれぞれ前記

円形ディンプルと重合し、前記円形ディンプルと前記楕円形ディンプルとが相互に連通しており、

前記1つのランドは前記3つの楕円形ディンプルの間に形成されており、ゴルフボールを採用した。

### 発明の効果

[0006] 従って、このゴルフボールは、従来の円形ディンプルが形成されたゴルフボールと異なって、円形ディンプルとともに楕円形ディンプルがあり、しかも楕円形ディンプルは円形ディンプルに対して重合し、楕円形ディンプルと円形ディンプルとは相互に連通している構成のため、ゴルフボールのスピンの増大を抑えつつ、空力特性（揚力/抗力）が増大し、飛距離を向上することができる。

### 図面の簡単な説明

[0007] [図1]本発明の第1の実施態様を示す概略正面図である。

[図2]図1におけるa-a線の同要部拡大断面図である。

[図3]本発明の第2の実施態様を示す概略正面図である。

[図4]図3におけるb-b線の同要部拡大断面図である。

[図5]本発明の第3の実施態様を示す概略正面図である。

[図6]図5におけるc-c線の同要部拡大断面図である。

### 符号の説明

[0008] 100 ゴルフボール  
101 球体表面  
102 ディンプル  
103 ランド  
104 楕円形ディンプル  
105 円形ディンプル  
115 円形ディンプル  
125 円形ディンプル  
AD 円形ディンプルに対して楕円形ディンプルの重合部分における最

大深さ

B D 円形ディンプルの中央部分の最大深さ

C D 楕円形ディンプルの中央部分の最大深さ

### 発明を実施するための最良の形態

- [0009] 図1及び図2において、100はゴルフボールで、その球体の表面101はディンプル102とディンプル102を除いたランド103で構成され、前記ディンプル102は楕円形ディンプル104と共に円形ディンプル105が形成されている。
- [0010] ディンプル102は前記1つの楕円形ディンプル104がその長軸方向両端部104a、104bにおいてそれぞれ前記円形ディンプル105と重なり、前記円形ディンプル105と前記楕円形ディンプル104とが相互に連通している。
- [0011] 一方、前記ランド103は、1つのランド103において前記3つの楕円形ディンプル104、104、104の間に形成されている。従って、1つのランド103が楕円形ディンプル104、104、104の長軸方向両端部を除いて楕円形ディンプル104、104、104の周囲縁によって取り囲まれている。
- [0012] 従って、このゴルフボール100は、前記ディンプルと前記ランドが一定の関係で繰り返し形成されたゴルフボールであるので、従来の円形ディンプルが形成されたゴルフボールと異なって、円形ディンプル105とともに楕円形ディンプル104があり、しかも楕円形ディンプル104は円形ディンプル105に対して重なり、楕円形ディンプル104と円形ディンプル105とは相互に連通している構成のため、このゴルフボール100を打った際に発生するスピン量を抑えつつ、空力特性（揚力/抗力）を増大することができる。
- [0013] また図3及び図4において、前記円形ディンプル105の代わりに、表面が六角形で円錐形に形成された円形ディンプル115となっている点で異なるゴルフボールである。また図5及び図6において、前記円形ディンプル1

05の代わりに、ランド103の先端部を斜め107に切った円形ディンプル125である。

[0014] ところで前記円形ディンプルに対して前記楕円形ディンプルの重合部分における最大深さは、0.1～0.15mm好ましく、前記円形ディンプルの中央部分の最大深さは、0.23～0.28mmが好ましく、前記楕円形ディンプルの中央部分の最大深さは、0.33～0.38mmが好ましい。

[0015] このゴルフボールは、いずれも従来の円形ディンプルが形成されたゴルフボールと異なって、円形ディンプルとともに楕円形ディンプルがあり、しかも楕円形ディンプルは円形ディンプルに対して重合し、楕円形ディンプルと円形ディンプルとは相互に連通している構成のため、ゴルフボールのスピンの増大を抑えつつ、空力特性（揚力/抗力）が増大し、飛距離を向上することができる。

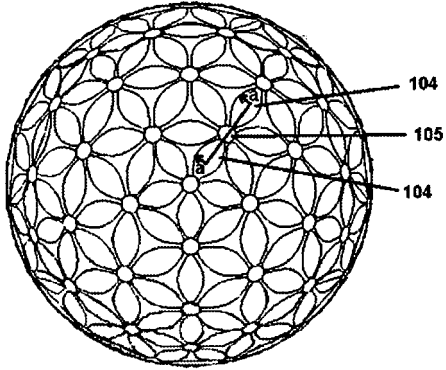
#### 産業上の利用可能性

[0016] 本発明のゴルフボールは、初心者からプロに至るゴルファーに利用可能である。

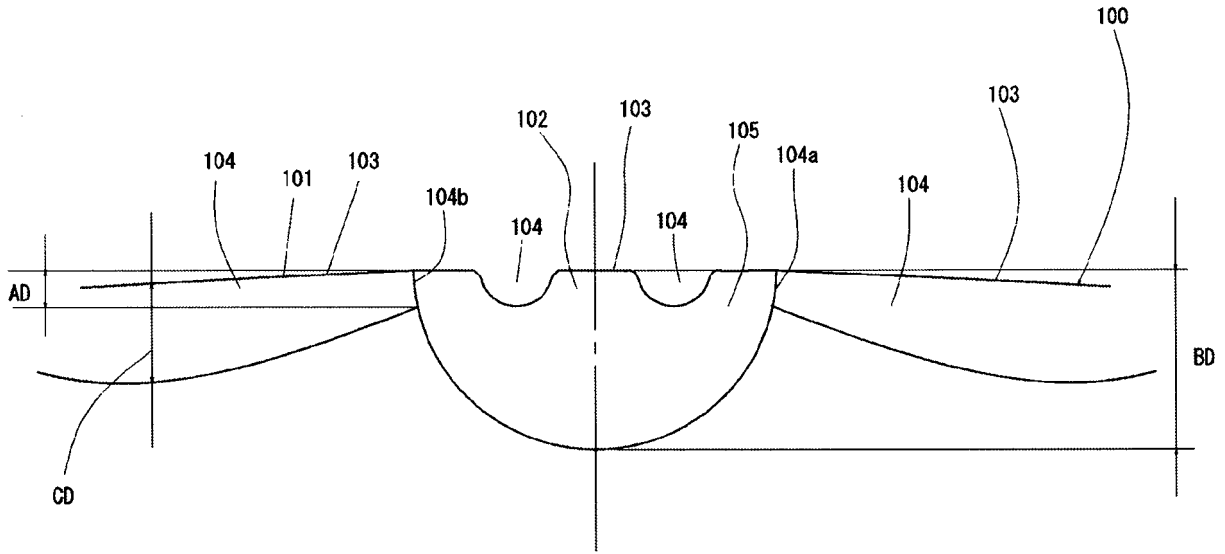
### 請求の範囲

- [請求項1] 球体の表面はディンプルとディンプルを除いたランドで構成され、前記ディンプルは楕円形ディンプルと共に円形ディンプルが形成されたゴルフボールであって、
- 前記1つの楕円形ディンプルがその長軸方向両端部においてそれぞれ前記円形ディンプルと重合し、前記円形ディンプルと前記楕円形ディンプルとが相互に連通しており、
- 前記1つのランドは前記3つの楕円形ディンプルの間に形成されている
- ゴルフボール。
- [請求項2] 前記円形ディンプルに対して前記楕円形ディンプルの重合部分における最大深さは、
- 0.1～0.15 mm、
- 前記円形ディンプルの中央部分の最大深さは、0.23～0.28 mm、
- 前記楕円形ディンプルの中央部分の最大深さは、0.33～0.38 mm
- である請求の範囲1記載のゴルフボール。

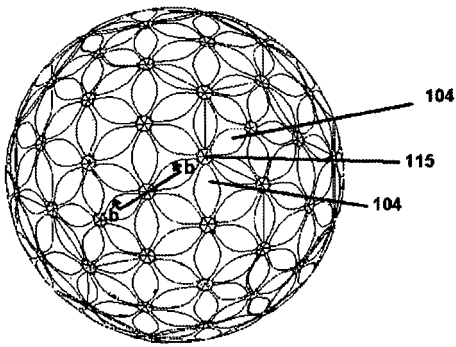
[圖1]



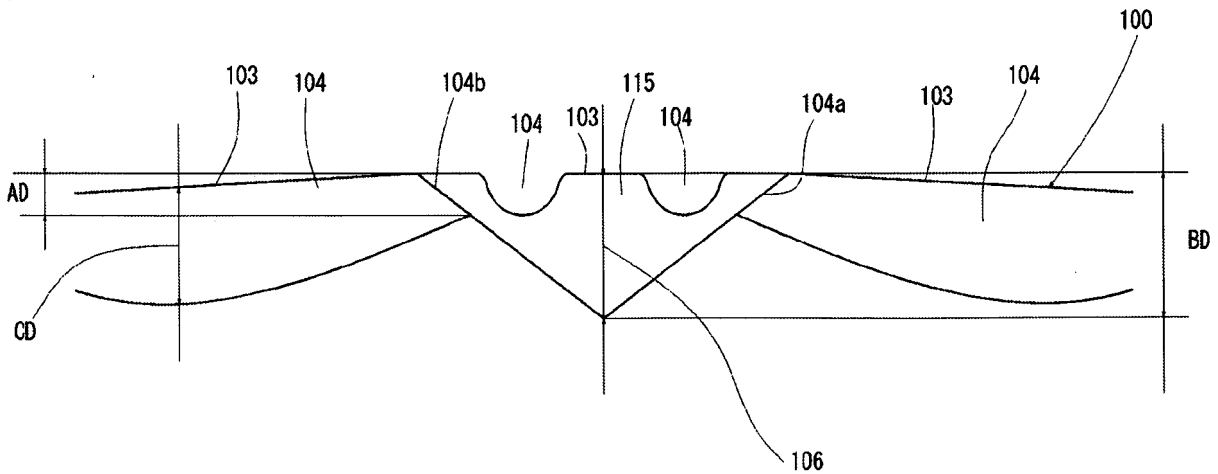
[圖2]



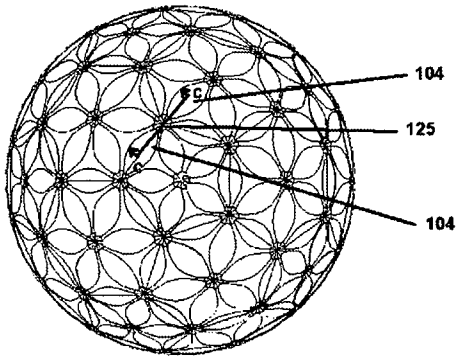
[圖3]



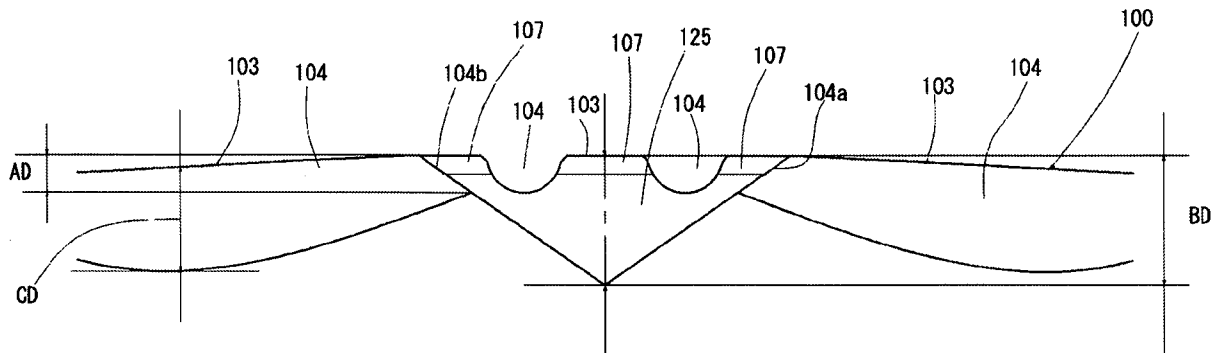
[圖4]



[図5]



[図6]



## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2012/051341

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER A63B37/00 (2006.01) i		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED		
Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) A63B37/00		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2012 Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2012 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2012		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 10-108921 A (Ilya Co., Ltd.), 28 April 1998 (28.04.1998), paragraph [0006]; fig. 4 & US 5879245 A & KR 10-0187788 B1	1-2
Y	WO 2010/143655 A1 (Tomohiko SATO), 16 December 2010 (16.12.2010), paragraphs [0015] to [0016]; fig. 10 (Family: none)	1-2
<input type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input type="checkbox"/> See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 06 February, 2012 (06.02.12)		Date of mailing of the international search report 14 February, 2012 (14.02.12)
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office		Authorized officer
Facsimile No.		Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC)) Int.Cl. A63B37/00(2006.01)i										
B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC)) Int.Cl. A63B37/00										
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの <table border="0"> <tr> <td>日本国実用新案公報</td> <td>1922-1996年</td> </tr> <tr> <td>日本国公開実用新案公報</td> <td>1971-2012年</td> </tr> <tr> <td>日本国実用新案登録公報</td> <td>1996-2012年</td> </tr> <tr> <td>日本国登録実用新案公報</td> <td>1994-2012年</td> </tr> </table>			日本国実用新案公報	1922-1996年	日本国公開実用新案公報	1971-2012年	日本国実用新案登録公報	1996-2012年	日本国登録実用新案公報	1994-2012年
日本国実用新案公報	1922-1996年									
日本国公開実用新案公報	1971-2012年									
日本国実用新案登録公報	1996-2012年									
日本国登録実用新案公報	1994-2012年									
国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)										
C. 関連すると認められる文献										
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号								
Y	JP 10-108921 A (イルヤ カンパニー, リミテッド) 1998.04.28, 段落【0006】, 第4図 & US 5879245 A & KR 10-0187788 B1	1-2								
Y	WO 2010/143655 A1 (佐藤 友彦) 2010.12.16, 段落[0015]-[0016], 第10図 (ファミリーなし)	1-2								
<input type="checkbox"/> C欄の続きにも文献が列挙されている。 <input type="checkbox"/> パテントファミリーに関する別紙を参照。										
* 引用文献のカテゴリー 「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す) 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願日の後に公表された文献 「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの 「&」 同一パテントファミリー文献										
国際調査を完了した日 06.02.2012	国際調査報告の発送日 14.02.2012									
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/J P) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 高木 亨 電話番号 03-3581-1101 内線 3277	2N 4470								



## (12) 发明专利申请

(10) 申请公布号 CN 104093461 A

(43) 申请公布日 2014. 10. 08

(21) 申请号 201280066792. 1

(22) 申请日 2012. 01. 23

(85) PCT国际申请进入国家阶段日  
2014. 07. 11

(86) PCT国际申请的申请数据  
PCT/JP2012/051341 2012. 01. 23

(87) PCT国际申请的公布数据  
WO2013/111263 JA 2013. 08. 01

(71) 申请人 岸下佳弘  
地址 日本兵库县

(72) 发明人 岸下佳弘

(74) 专利代理机构 北京尚诚知识产权代理有限公司 11322

代理人 龙淳

(51) Int. Cl.

A63B 37/00 (2006. 01)

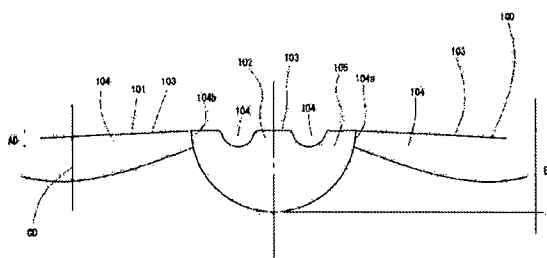
权利要求书1页 说明书3页 附图2页

(54) 发明名称

高尔夫球

(57) 摘要

本发明提供一种通过改进凹坑来改善气动特性,提高飞行距离的高尔夫球。球体表面(101)由凹坑(102)和除凹坑(102)之外的坑间表面(103)构成,上述凹坑(102)由圆形凹坑(105)和椭圆形凹坑(104)一起形成,上述高尔夫球(100)的特征在于:上述一个椭圆形凹坑(104)在其长轴方向两端部分别与上述圆形凹坑(105)重合,上述圆形凹坑(105)与上述椭圆形凹坑(104)相互连通,上述一个坑间表面(103)形成在上述三个椭圆形凹坑(104、104、104)之间。



1. 一种高尔夫球,该高尔夫球的球体的表面由凹坑和除凹坑之外的坑间表面构成,所述凹坑由圆形凹坑和椭圆形凹坑一起形成,所述高尔夫球的特征在于:

所述一个椭圆形凹坑在其长轴方向两端部分别与所述圆形凹坑重合,所述圆形凹坑与所述椭圆形凹坑相互连通,

所述一个坑间表面形成在所述三个椭圆形凹坑之间。

2. 如权利要求 1 所述的高尔夫球,其特征在于:

所述椭圆形凹坑与所述圆形凹坑重合的部分的最大深度为 0.1 ~ 0.15mm,

所述圆形凹坑的中央部分的最大深度为 0.23 ~ 0.28mm,

所述椭圆形凹坑的中央部分的最大深度为 0.33 ~ 0.38mm。

## 高尔夫球

### 技术领域

[0001] 本发明涉及高尔夫球,特别涉及高尔夫球的球体表面的凹坑和坑间表面的排列结构的改良。

### 背景技术

[0002] 迄今为止,高尔夫球为了减小阻力、增大升力,提高气动力特性(升力/阻力),在高尔夫球的表面,配置有多个凹坑。例如,已公开了使凹坑的表面形状为椭圆形的非圆形(专利文献1、4),或在凹坑内设置凸部或凹部而成为双层凹坑(专利文献2)、用槽连接凹坑间的结构等(专利文献3、5)。

[0003] 专利文献1:日本特开平8-191905号公报

[0004] 专利文献2:日本特开平8-238336号公报

[0005] 专利文献3:日本特开平8-276035号公报

[0006] 专利文献4:日本实用新型登记第3157248号公报

[0007] 专利文献5:国际公开W02010-143655

[0008] 专利文献6:日本特开2000-317014号公报

### 发明内容

[0009] 发明想要解决的技术问题

[0010] 本发明要解决的技术问题在于,提供一种通过改进凹坑来改善气动力特性,提高飞行距离的高尔夫球。

[0011] 用于解决技术课题的技术方案

[0012] 为了解决上述技术问题,本发明采用一种高尔夫球,该高尔夫球的球体表面由凹坑和除凹坑之外的坑间表面构成,上述凹坑由圆形凹坑和椭圆形凹坑一起形成,

[0013] 上述一个椭圆形凹坑在其长轴方向两端部分别与上述圆形凹坑重合,上述圆形凹坑与上述椭圆形凹坑相互连通,

[0014] 上述一个坑间表面形成在上述三个椭圆形凹坑之间。

[0015] 发明效果

[0016] 因此,该高尔夫球与现有技术的形成有圆形凹坑的高尔夫球不同,具有圆形凹坑并具有椭圆形凹坑,而且,椭圆形凹坑与圆形凹坑重合,椭圆形凹坑与圆形凹坑相互连通,由于这种结构,能够抑制高尔夫球的旋转量的增大,并增大气动力特性(升力/阻力),提升飞行距离。

### 附图说明

[0017] 图1是表示本发明的第一实施方式的概略正视图。

[0018] 图2是图1中的a-a线的该主要部分放大截面图。

[0019] 图3是表示本发明的第二实施方式的概略正视图。

- [0020] 图 4 是图 3 中的 b-b 线的该主要部分放大截面图。
- [0021] 图 5 是表示本发明的第三实施方式的概略正视图。
- [0022] 图 6 是图 5 中的 c-c 线的该主要部分放大截面图。
- [0023] 附图标记说明
- [0024] 100 高尔夫球
- [0025] 101 球体表面
- [0026] 102 凹坑
- [0027] 103 坑间表面
- [0028] 104 椭圆形凹坑
- [0029] 105 圆形凹坑
- [0030] 115 圆形凹坑
- [0031] 125 圆形凹坑
- [0032] AD 椭圆形凹坑与圆形凹坑重合的部分的最大深度
- [0033] BD 圆形凹坑的中央部分的最大深度
- [0034] CD 椭圆形凹坑的中央部分的最大深度

### 具体实施方式

[0035] 图 1 和图 2 中,100 是高尔夫球,该高尔夫球的球体的表面 101 由凹坑 102 和除凹坑 102 之外的坑间表面 103 构成,上述凹坑 102 由椭圆形凹坑 104 和圆形凹坑 105 一起形成。

[0036] 凹坑 102 为上述一个椭圆形凹坑 104 在其长轴方向两端部 104a、104b 分别与上述圆形凹坑 105 重合,上述圆形凹坑 105 与上述椭圆形凹坑 104 相互连通。

[0037] 另一方面,上述坑间表面 103 为一个坑间表面 103 形成在上述三个椭圆形凹坑 104、104、104 之间。因此,一个坑间表面 103 除椭圆形凹坑 104、104、104 的长轴方向两端部之外,被椭圆形凹坑 104、104、104 的周缘包围。

[0038] 因此,该高尔夫球 100 是上述凹坑和上述坑间表面按固定的关系重复而形成的高尔夫球,因此与现有技术的形成有圆形凹坑的高尔夫球不同,具有圆形凹坑 105 并具有椭圆形凹坑 104,而且,椭圆形凹坑 104 与圆形凹坑 105 重合,椭圆形凹坑 104 与圆形凹坑 105 相互连通,由于这种结构,能够抑制击打高尔夫球 100 时产生的旋转量,并且增大气动力特性(升力/阻力)。

[0039] 另外,在图 3 和图 4 中,为采用表面为六边形且形成为圆锥形的圆形凹坑 115 替代上述圆形凹坑 105 这一点不同的高尔夫球。另外,在图 5 和图 6 中,采用坑间表面 103 的前端部切成斜面 107 的圆形凹坑 125 替代上述圆形凹坑 105。

[0040] 另外,上述椭圆形凹坑与上述圆形凹坑重合的部分的最大深度优选 0.1 ~ 0.15mm,上述圆形凹坑的中央部分的最大深度优选 0.23 ~ 0.28mm,上述椭圆形凹坑的中央部分的最大深度优选 0.33 ~ 0.38mm。

[0041] 该高尔夫球与现有技术的形成有圆形凹坑的高尔夫球都不同,具有圆形凹坑并具有椭圆形凹坑,而且,椭圆形凹坑与圆形凹坑重合,椭圆形凹坑与圆形凹坑相互连通,由于这种结构,能够抑制高尔夫球的旋转量的增大,并增大气动力特性(升力/阻力),提升飞行

距离。

工业上的可利用性

从初学者至专业的打高尔夫球的人能够利用本发明的高尔夫球。

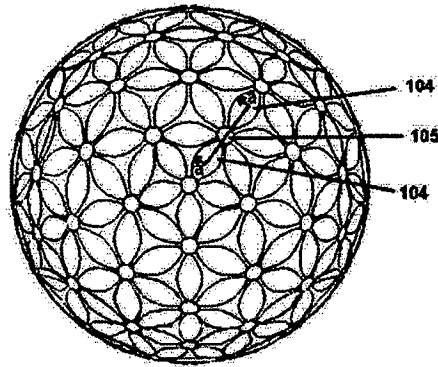


图1

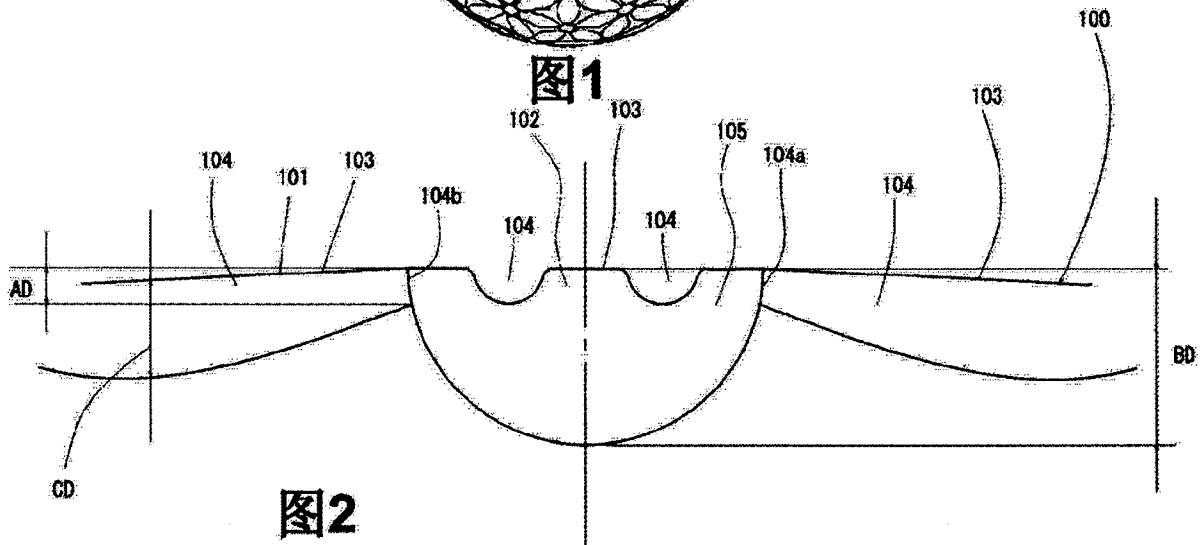


图2

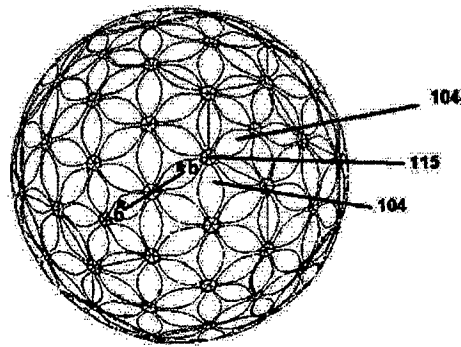


图3

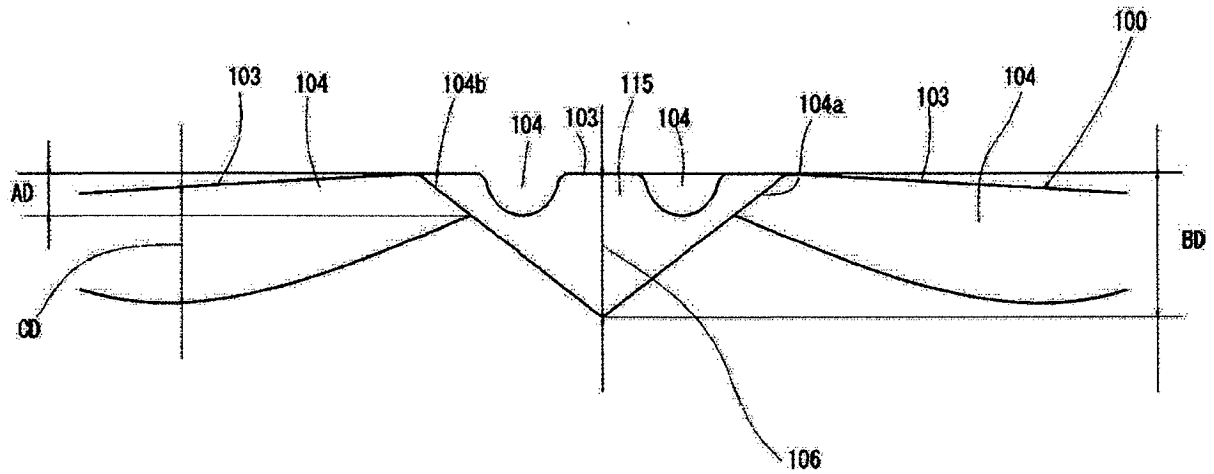


图 4

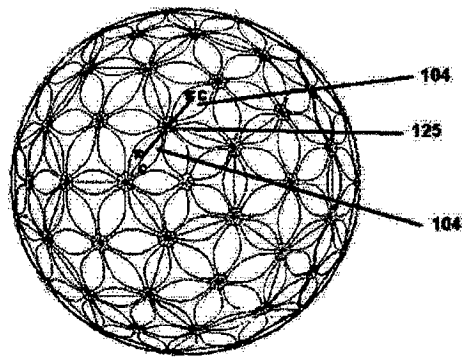


图 5

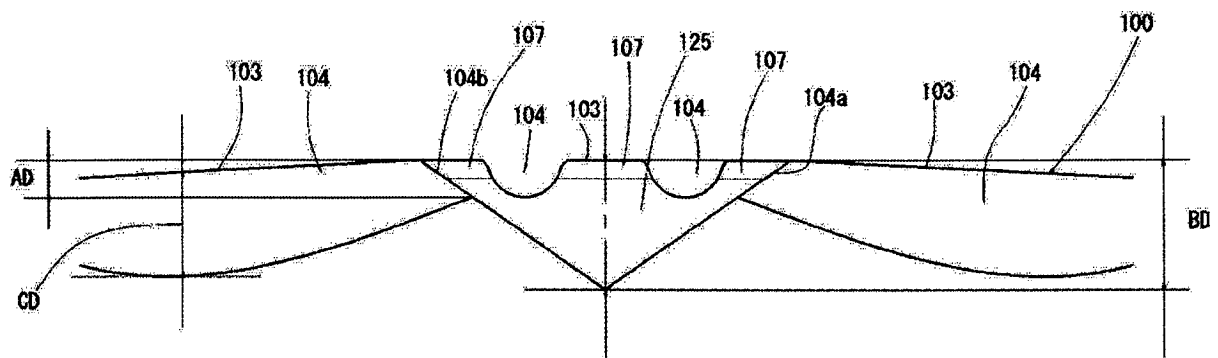


图 6

## **Golf Ball**

### **ABSTRACT**

[Problem] To provide a golf ball, the aerodynamic characteristics of which have been improved and flight distance increased by means of a dimple design. [Solution] A golf ball (100) in which the sphere surface (101) is configured from dimples (102) and lands (103), which exclude the dimples (102), and in which elliptical dimples (104) together with round dimples (105) are formed in the dimples (102). Each of the two ends (104a, 104b) in the longitudinal direction of a single elliptical dimple (104) overlaps a round dimple (105), and the round dimples (105) and the elliptical dimples (104) communicate with each other. A single land (103) is formed between three elliptical dimples (104, 104, 104).

# 高尔夫球

## 摘要

本发明提供一种通过改进凹坑来改善气动力特性,提高飞行距离的高尔夫球。球体表面(101)由凹坑(102)和除凹坑(102)之外的坑间表面(103)构成,上述凹坑(102)由圆形凹坑(105)和椭圆形凹坑(104)一起形成,上述高尔夫球(100)的特征在于:上述一个椭圆形凹坑(104)在其长轴方向两端部分别与上述圆形凹坑(105)重合,上述圆形凹坑(105)与上述椭圆形凹坑(104)相互连通,上述一个坑间表面(103)形成在上述三个椭圆形凹坑(104、104、104)之间。